

国立がん研究センター

東 病 院



がん患者さんの

" 新型コロナウイルス感染症 "
と " インフルエンザ " 対策

新型コロナウイルス感染症は、現在もがん患者さんにとって侮れない感染症です。がんや治療の影響で免疫の働きが低下していると、重症化しやすい場合があります。ただし、がんの種類、治療内容などでリスクの程度は異なります。必要以上に恐れすぎず、自分に合った予防と早めの相談を心がけましょう。

がん患者さんは新型コロナウイルス
感染症にかかりやすく、重症化しやすいが、
その程度は患者さんによって異なる感染が疑われるときは
担当医に相談を

発熱、咳、倦怠感など新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がみられた場合、特に以下に該当する場合は早めに担当医やかかりつけ医へ連絡しましょう。早期の治療が重症化のリスク軽減にもつながります。

- ・ 感染した人、または感染が疑われる人と接触した
- ・ 息苦しさ、顔色の悪さ、強いだるさがある
- ・ 意識がぼんやりする、水分がとれない
- ・ 症状が急に悪くなる、または長引いている

血液がんの方、造血幹細胞移植後の方、最近抗がん剤治療や手術を受けた方は、軽い症状でも自己判断せず相談してください。家族や介護者も体調の変化に気づいたら医療者へ相談しましょう。

感染制御室長

冲中 敬二
(おきなかけいじ)

2000年浜松医科大学卒業。中央病院造血幹細胞移植科・総合内科勤務後2015年より現職。

現在も週1回は中央病院造血幹細胞移植科に勤務。専門はがん患者の感染症診療。

がん患者さんは、一般の方より感染や重症化に注意が必要とされています。特に次の方は、症状が軽くても早めに相談しましょう。

- ・ がん診断から1年以内の方や最近抗がん剤治療や手術を受けた方
- ・ 白血病など血液のがんの方
- ・ 造血幹細胞移植を受けた方（特に移植後免疫抑制剤治療中の方）
- ・ 高齢の方

一方で、診断・治療から時間がたち、体調が安定している方では、重症化の危険が一般の方と大きく変わらない場合もあります。不安な点は担当医に確認しておきましょう。

流行期にはマスクや手洗い、 換気を行い感染予防を

主に、感染者が放出する飛沫やエアロゾルを吸い込むことなどで感染します。

ウイルスが付いた手で目・鼻・口に触れることでも感染することがあります。流行期には密集・密接・密閉を避け、次の基本対策を続けましょう。

- ・ 人との距離が取りにくい場所ではマスクを着ける
- ・ 人込みや公共交通機関、換気の悪い屋内では状況に応じてマスクを使う
- ・ 外出後、食事前、トイレ後は、石けんと流水で20～30秒手を洗う
- ・ 手洗いが難しいときは、アルコールで手指を消毒する

インフルエンザも同様の 対策が必要

インフルエンザも新型コロナウイルス感染症と同様にがん患者さんにとって侮れない感染症です。流行期にはマスクは手洗いなどの予防対策が重要です。

インフルエンザワクチンは重症化を防ぐ効果が期待できます。感染が疑われる状況下では、早めに担当医やかかりつけ医へ連絡し、受診しましょう。

根拠のない情報や誤情報に注意

インターネットやSNSには、根拠がはっきりしない情報や誤った情報もあります。情報を見るときは、医療機関や公的機関など信頼できる発信元かを確認しましょう。

感染を心配するあまり、必要な受診や検査を自己判断でやめないことも大切です。発熱や咳が続くとき、家族の体調が悪いとき、ワクチン接種や外出について迷うときは、医療者に相談してください。

緊急性の高い症状（*はご家族がご覧になって判断した場合です）

1 **表情・外見**



- ✓ 顔色が明らかに悪い*
- ✓ 唇が紫色になっている
- ✓ いつもと違う、様子がおかしい*

2 **息苦しさ等**



- ✓ 息が荒くなった（呼吸数が多くなった）
- ✓ 急に息苦しくなった
- ✓ 日常生活の中で少し動くと息があがる
- ✓ 胸の痛みがある
- ✓ 横になれない、座らないと息ができない
- ✓ 肩で息をしている、ゼーゼーしている

3 **意識障害等**



- ✓ ぼんやりしている（反応が弱い）*
- ✓ もうろうとしている（返事がない）*

家庭内でできる感染予防

家族や同居する方の体調が悪いときは、食事や寝る部屋を分け、換気を行い、患者さんとの接触を少なくしましょう。接触が必要な場合は、お互いにマスクを着け、距離を保ちます。ドアノブ、スイッチ、手すり、リモコンなど、よく触れる場所は清掃・消毒を行います。消毒薬は説明を読み、安全に使ってください。

東病院 HP 感染制御室
「新型コロナウイルス感染症について」



体調を整え、ワクチン接種 について相談を

感染予防には、毎日の体調管理も大切です。バランスのよい食事、十分な睡眠、規則正しい生活を心がけましょう。体調がよいときは、無理のない範囲で散歩や軽い運動を行い、体力低下を防ぎます。喫煙は重症化の危険と関係するため、禁煙も大切です。

近年の研究結果からも新型コロナワクチンは引き続き重症化を防ぐ効果が期待でき、接種が推奨されます。接種時期に迷うときは、担当医に相談してください。